

製品名: MAP2K6 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80948**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2K6
別名	MEK6; MKK6; MAPKK6; PRKMK6; SAPKK3; MAP2K6
遺伝子 ID	5608.0
SwissProt ID	P52564
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAP2K6 の精製された組み換え断片。

背景

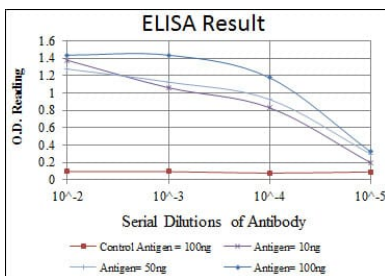
この遺伝子は、マイトジェン活性化タンパク質（MAP）キナーゼとして機能する二重特異性タンパク質キナーゼファミリーのメンバーをコードしています。MAP キナーゼは細胞外シグナル調節キナーゼ（ERK）としても知られ、複数の生化学的シグナルの統合点

として機能します。このタンパク質は、炎症性サイトカインまたは環境ストレスに反応して p38 MAP キナーゼをリン酸化して活性化します。p38 MAP キナーゼを介したシグナル伝達経路の必須構成要素として、この遺伝子は、ストレス誘導性の細胞周期停止、転写活性化、アポトーシスなど、多くの細胞プロセスに関与しています。組織特異性: アイソフォーム 2 は骨格筋でのみ発現します。一方、アイソフォーム 1 は骨格筋、心臓、そして肝臓や膵臓にも少量存在します。

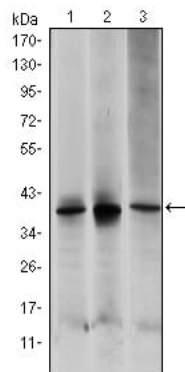
研究分野

アポトーシス、TGF- β シグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Jak-STATシグナル伝達経路

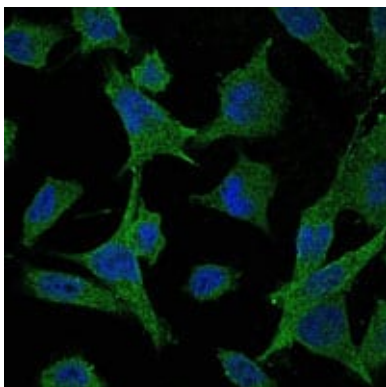
画像データ



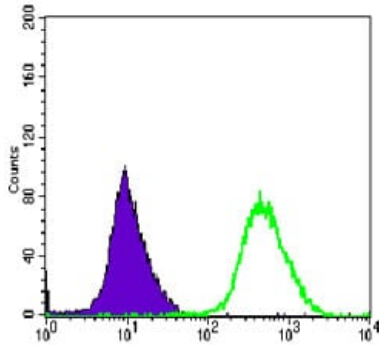
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



HepG2 (1)、MCF-7 (2)、NIH/3T3 (3) 細胞溶解物に対する MAP2K6 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



MAP2K6 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



MAP2K6 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。